

急傾斜地で発生したがけ崩れにおいて崩落土砂を捕捉し、人家等への被害を防止(和歌山県海南市)

5か年加速化対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

効果概要: 5か年加速化対策により、急傾斜地崩壊防止対策を実施。令和5年台風第2号に伴う大雨によりがけ崩れが発生したが、崩壊土砂を捕捉。周辺人家等への被害を未然に防止した。

府省庁名: 国土交通省

■ 実施主体: 和歌山県

■ 対策の概要: 急傾斜地崩壊防止施設の整備

(落石防護柵・擁壁)

■ 事業費: 事業費約3.1億円

(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.5億円)

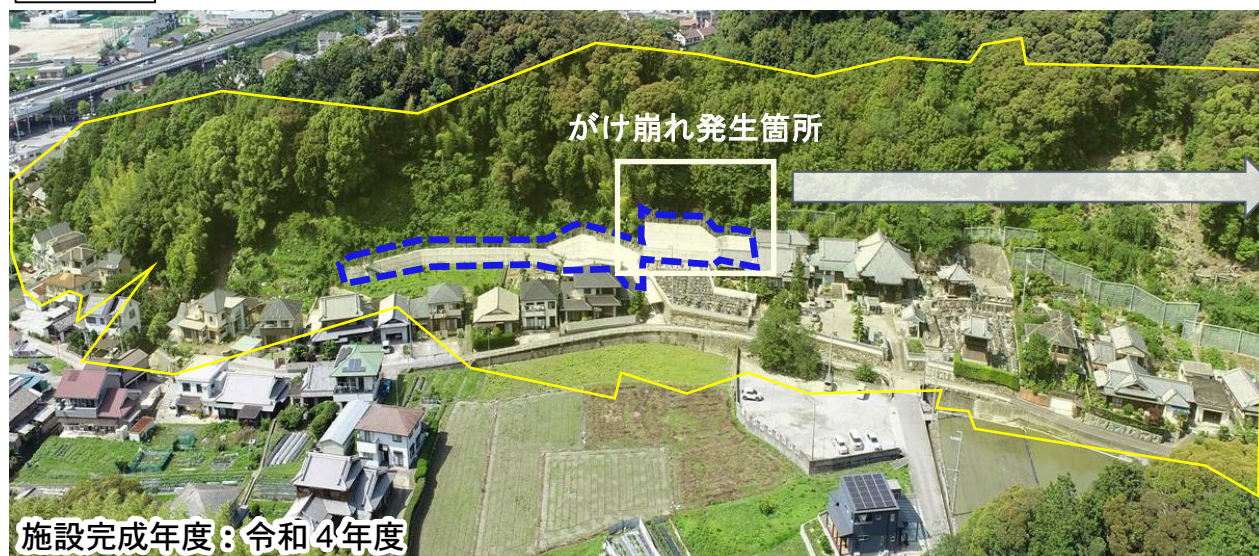
発生日 : 令和5年6月2日

降雨状況: 連続雨量 209mm (6月1日19時~2日24時)

時間最大雨量 28mm (6月2日9時~10時)

発生箇所: 和歌山県海南市 幡川1地区

全景 がけ崩れ発生箇所



施設完成年度: 令和4年度

急傾斜地崩壊防止施設
(落石防護柵及び擁壁)

土砂災害警戒区域
(急傾斜地の崩壊)

近景 土砂抑制状況

